

会議名	平成 22 年度第 1 回 第 4 分科会（教育分野）
日時	平成 22 年 10 月 4 日（月） 13 時 30 分～16 時 30 分
場所	江南市市民体育会館 2 階 第 4 会議室
出席者	市民委員 柴田熙、滝滋、伊神良祐、加藤和夫、高崎悟、津田喜代治、中川昭人、丸井ささぐ
	市職員 鈴木慎也、河井照夫
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度のまちづくり会議について 2. まちづくり評価シートについて 3. 江南市戦略計画の見直しについて 4. 委員及び市職員の紹介 5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて 6. 平成 22 年度第 2 回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 江南市まちづくり会議委員名簿（資料 1） 2. まちづくり評価について（資料 2） 3. 達成率の計算及び達成状況の表示について（資料 2-1） 4. 「江南市戦略計画」見直しの考え方について（資料 3） 5. 目標フレーム見直しの考え方（別紙 1） 6. 新たな環境変化（主なもの）（別紙 2） 7. まちづくり会議のスケジュール（資料 4） 8. まちづくり評価シート【IV教育分野】（資料 5） 9. 戦略計画見直し作業結果シート【IV教育分野】（資料 6） 10. 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査報告書（資料 7）

◆ 会議結果 ◆

1. 今年度のまちづくり会議について

- ・まちづくり評価の概要とまちづくり会議のスケジュールについて、経営企画部長より説明がありました。

2. まちづくり評価シートについて

- ・まちづくり評価シートについて、行政経営課行政マネジメントグループリーダーより説明がありました。

3. 江南市戦略計画の見直しについて

- ・江南市戦略計画の見直しについて、行政経営課政策決定支援グループリーダーより説明がありました。

4. 委員及び市職員の紹介

- ・各種団体の代表者で変更のあった委員及び 4 月の人事異動により変更のあった市職員の委員について、事務局より紹介がありました。

5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

- ・教育分野の柱 1 のまちづくり評価及び戦略計画の見直しについて、担当課長から説明がありました。
- ・達成率の表示について、実績値が前回調査時の基準値を満たしていないと達成率の計算により算出した達成率を 0%と修正して表示しているが、算出結果そのままの達成率を用いて評価すべきではないかという意見があり、達成率の表示については、資料 2-1 の達成率の計算及び達成状況の表示についての説明を参考にさせていただきたいとの説明がありました。また、表示方法については全分野統一しているため、教育分野だけ訂正するのは困難であるとの説明がありました。市民の方が評価シートを見

た時に達成率の表示について解りにくいところがあるので、評価シートのいずれかの箇所に補足説明を表示したらどうかとの意見がありました。

〔柱1〕全体目標「学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力を持ち、心豊かにいきいきと育っている」

- ・指標「学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合」について実績値が37.6%である。これは教育に関心があるないに関わらず、今回の調査では江南市に居住する18歳以上の人から無作為に1,800人を抽出したうちの825人からの回答を基に分析をした結果となるが、市民の割合を判断するにあたり825人では信頼度が低いので、教育に関心のある人を調査対象にして市民の割合を判断した方が回収数も増え信頼度が高まり、より良い分析ができるのではないかと意見があったが、調査条件を変更するのは困難であるため、教育に関心があるかなどの指標を次回のアンケートで、新たに追加設定して分析をすることは可能であることを説明しました。
- ・市民調査報告書では、調査票の発送1,800票に対し、回収が825票で、回収率が45.8%との記載があるが、この回収数では信頼度が低いのではないかと意見があり、回収率においては統計学的にも有効とされる範囲であるとの説明がありました。信頼度の詳細についての説明は次回の会議で説明することになりました。

〔柱1〕個別目標①「児童生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている」

- ・学校補助教員と特別支援学級等支援職員の配置状況について説明が求められたため、各学校の現状に合わせて職員を配置しているとの説明がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱1〕個別目標②「学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている」

- ・学校評議員の委嘱状況について説明が求められたため、各学校の評議員の人数及びどのような肩書きを持つ方が各地域から選ばれているかについての説明がありました。
- ・小学校6年生が、中学校へ入学すると新たな環境変化についていけなくなり不登校になるといった「中1ギャップ」といった事例があります。この事例を克服するのに有効な手段の一つとして中学校校区を単位とした、小中の児童・生徒などのふれあいができるあいさつ運動がありますので、今後の展開方針について小中連携の事業についてももう少し詳しく追記したいとの説明がありました。
- ・取り組みの状況の内容については原案で了承されました。個別目標に対するまちづくり評価の内容については、全体目標に対するまちづくり評価の内容にも同一の内容を記述しているため、全体目標の評価内容からは削除してはどうかとの意見があり、評価の内容について再度検討し、次回の会議で報告することになりました。

〔柱1〕個別目標③「バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけて健康に育っている」

- ・学校給食における地場産物の割合を増やすため、物資納入方法について工夫していただきたいとの意見がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱1〕個別目標④「教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童生徒が学習活動に取り組んでいる」

- ・耐震化については、計画を前倒して実施しているため、達成状況が良い評価が得られています。今

後も計画どおり早期に完了するように進めていただきたいとの意見がありました。

- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔柱1〕 柱全体のまちづくり評価

- ・柱全体の得られた成果、今後の課題、今後の取り組みの方向性については原案で了承されました。

〔柱1〕 戦略計画の見直し

- ・まちづくり評価を踏まえ作成した、戦略計画の見直しの内容については、原案で了承されました。

6. 平成22年度第2回以降のまちづくり会議(分野別会議)日程について

- ・第2回以降の会議の開催日時を決定しました。

第2回まちづくり会議（教育分野）

開催日時：平成22年10月12日（火）午前9時～ 市役所 2階 第1会議室

第3回まちづくり会議（教育分野）

開催日時：平成22年10月20日（水）午後7時～ 市役所 2階 大会議室

第4回まちづくり会議（教育分野）

開催日時：平成22年10月25日（月）午後7時～ 市役所 2階 大会議室

その他

- ・柴田会長、滝副会長、鈴木教育課長に、11月上旬以降開催予定のまちづくり会議（全体会議）への出席のお願いが事務局からありました。